
編集後記

本学紀要も創刊から10年を数え、最初の5年は年1回、6年目からは年2回刊行してきましたので、第10巻2号の本号は通巻では第15号ということになります。本号では初めて本学図書館司書が筆頭著者となっている論文を掲載しています。内容は本学図書館において看護職者への生涯学習支援をどのように展開してきたかをまとめたものですが、これは看護学というよりは図書館学に属する論文といってよいと思います。

紀要に掲載する論文は看護学に限定するという意見がありますが、私自身はそれに異を唱えます。本学は看護学の単科大学ですが、大学は看護学だけで成り立っているわけではありません。看護学以外の専門関連や教養の教員、大学運営に携わる事務職員や司書など多様な教職員の日々の活動が大学を動かしており、紀要はその大学の多様性を反映させたものであるべきだと考えます。教員のFD活動、職員のSD活動を取り上げた論文であれば、それは大学教育学会で十分発表できるものになり得るので、看護学という範疇に限定する必要はないでしょう。

その一方で、紀要の学術的水準の問題があります。紀要での研究発表を研究上の業績として認めない学会や組織があり、特に自然科学系の分野ではその傾向が強いように思います。人文・社会系の分野や学際的の分野などでは研究発表の場が少ないことから紀要での発表も業績として数えるという話を聞きますが、看護学の分野では紀要での発表は研究業績に含まれないと思ってよいでしょう。したがって、紀要は本学が取り組む共同研究や本学独自の教育実践研究を発表する場であるとともに教員、とりわけ若手教員が紀要に投稿することを通して、その後の学会誌等への原著論文投稿へステップアップする修練の場という意味合いもあると思います。その意味で今後も紀要への積極的な投稿を期待しています。

(会田 敬志)

岐阜県立看護大学紀要委員会

委員長	泊	祐子
委員	会田	敬志
〃	田村	正枝
〃	石川	かおり
事務局	加藤	和英

岐阜県立看護大学紀要

第10巻2号 2010年3月発行

ISSN 1346-2520

発行所 岐阜県立看護大学
〒501-6295 岐阜県羽島市江吉良町 3047-1
TEL (058) 397-2300 (代) FAX (058) 397-2302
印刷所 印刷の一誠社